

かざぐるま 通信

私たち、小山市家庭教育支援チーム「かざぐるま」は、就学時健診、PTA研修、授業参観など、保護者の方々が集まる多くの機会を利用して、保護者の方向士の話し合いの中から、子育てに関する気付きを得る、【親学習プログラム】を実施しています。

「ワタシ」と「みすゞ」と「みつを」

＜金子みすゞ＞さんは、「鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい*1」
と表現しています。
＜相田みつを＞さんは、「しあわせはいつもじぶんのところがきめる*2」 と言っています。

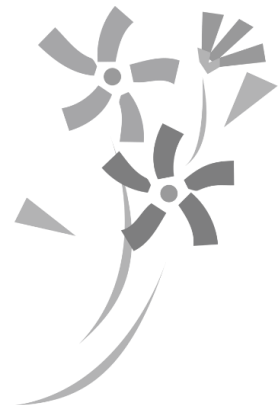
物事に対する受け止め方や感じ方、価値観の違いは人それぞれ異なります。多くの方が「そんなことわかっているよ」と言います。

しかし、現実には、人にかかわることが辛い、苦しい。自分が傷つかないよう、慎重に神経質に生きなければならぬ人達があります。また、一方では、自己主張が激しく、自分だけが理解されようとして、周囲の人の気持ちを考えようとしない人達があります。

両者の共通点は、「ありのままの私をわかってほしい」なのです。なぜ生きづらさを抱えて生きなければならない人たちがたくさんいるのでしょうか？自分を認め、他者を認め受け入れることは、そんなに頑張らないとできないことなのでしょうか？

今、「心の教育」や「道徳教育」がとても重要視されています。
ご家庭におかれましても

- ・心を整えること
- ・心を立て直すこと
- ・心に折り合いをつけること
- ・自分の気持ちを大切にすること
- ・他者の心を思いやること



などについて、会話のなかに取り入れて頂けたら、と思います。

※「心の教育」・「道徳教育」については、文部科学省のサイトに詳しく掲載されています。
引用出典：*1 金子みすゞ著「さみしい王女 新装版金子みすゞ全集・Ⅲ」JULA 出版局(1984)p145、
*2 相田みつを著「しあわせはいつも」文化出版局(1995)p3

「かざぐるま」について…

栃木県総合教育センター主催の「家庭教育支援プログラム指導者研修」を修了したメンバーで構成されており、現在は7名で活動中です。

右記ワークショップを実施するほか、子育ての悩みを相談したり、自由に楽しくメンバーと交流できる「おしゃべり会」も開催しています。



「親学習プログラム」について…

栃木県教育委員会が作成した、一連の話し合いワークショッププログラムです。どの家庭にもありそうなエピソードをもとに、保護者同士和気あいあいと楽しく交流できる場を提供します。

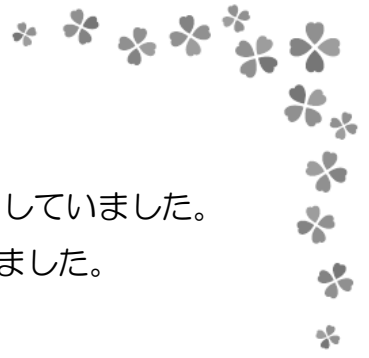
＜プログラム例＞

- 「ほめられるって、どんな気持ち？」…体験型プログラム
- 「子どものいいところを伸ばそう」…エピソード型プログラム

「おしゃべり会」「親学習プログラム」については、裏面連絡先までお気軽にお問合せください！



「ある日の出来事」



夜 7 時過ぎのスーパーで出会った親子のお話です。

仕事帰りの母親が赤ちゃんと 3 歳くらいの女の子を連れ買い物していました。

赤ちゃんはぐずぐず。女の子はただ黙って母親の後を歩いていました。

買い物を終わると外は雨。

母親が女の子に

「お姉ちゃん、ここで待っていてね。うごかないでね!」と言って、

赤ちゃんを抱っこして荷物を持ち、車へ走って行きました。

ひとり残った女の子は手をぎゅっと握りしめて、黙って母の背中を見つめていました。

車に赤ちゃんと荷物を載せ、母親は急いで女の子のもとに戻り

「ごめんね。さみしかったね。ありがとう。」と言いながら抱きしめました。

抱きしめられた瞬間、女の子の握りしめていた手が緩み笑顔が溢れました。

【子を思う親の気持ち。親を思う子の気持ち。抱きしめ、ありがとうの言葉】

温かい親子の絆が繋がる瞬間でした。

毎日忙しい日々ですが、お子さんの目を見て、顔を見て、
会話をすることで、きっと温かい気持ちになることでしょう。



子育ての悩み聞きます！ 「おしゃべり会」

毎月第 2 火曜日午前 11 時

小山第一小学校北校舎 1 階子どもふれあい教室

【お申込み・お問合せ】

小山市教育委員会生涯学習課：家庭教育支援担当

2 2 - 9 6 6 5

小山市青少年相談室

(小山市教育委員会生涯学習課)

幼児から 20 歳までのお子様の教育・子育てなどの
心配ごとについて、お子様自身や保護者の皆様をご
相談できます。

◇面接相談【要予約】

2 5 - 4 0 0 2 (月～金 9 時～ 1 7 時)

◇電話相談

2 5 - 4 0 0 6 (月～日 1 0 時～ 1 7 時)

★家庭教育支援チーム・親学習プログラム等についてのお問い合わせ

小山市教育委員会 生涯学習課

Tel 0285-22-9665 Fax 0285-22-9650

Mail : d-gakusyu@city.oyama.tochigi.jp

今までに発行した
「かざぐるま通信」は、
こちらからご覧いただけます。

